

第 3 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-0852
住 所 川崎市川崎区鋼管通1丁目2番1号
氏 名 医療法人社団 こうかん会
理事長 別所 隆 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 1 0 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	医療法人社団 こうかん会			
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区鋼管通1丁目2番1号			
該当する事業 者の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者			
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者			
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者			
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者			
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）			
主たる事業 の種類	大分類	P	医療、福祉	
	中分類	83	医療業	
主たる事業 の内容	一般病院、一般診療			
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		1,907 k l	
	☐ 自動車の台数		台	
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂	
連絡先	担当部署	担当部署名		
		所在地		
	電話番号			
	FAX番号			
	メールアドレス			
※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019年度～2021年度(報告年度2021年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1、2、4号該当者等）

（1）計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2018 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (2021 年度)	目標排出量
排出量 (t-CO ₂)	(実) 3,875 (調) 3,807	(実) 3,740 (調) 3,673	(実) 3,569 (調) 3,494	(実) 3,514 (調) 3,494	(実) 3,759 (調) 3,754
削減率		(実) 3.5 % (調) 3.5 %	(実) 7.9 % (調) 8.2 %	(実) 9.3 % (調) 8.2 %	(実) 3.0 % (調) 1.4 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値（任意記載）

原 単 位 等 の 活 動 量		延床面積		原単位等の単位	t-CO2/㎡
	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標とした値
	(2018 年度)	(2019 年度)	(2020 年度)	(2021 年度)	
排出量原単位等の値	0.1124	0.1085	0.1036	0.1020	0.1090
活動量の値	34447	34447	34447	34447	-
排出量原単位等の削減率		3.5 %	7.8 %	9.3 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	一部の居室に断熱フィルム施工、照明のLED化、デマンド制御の運用の他、空調機のINV周波数変更や運転時間見直し等を実施した。			
第2年度	新型コロナ蔓延により病院稼働率低下しエネルギー使用量が低くなった。			
第3年度	コロナ流行により、換気のため窓を開ける等の対応をしたため冷暖房負荷が増えた。クリニックが第1. 3.5週土曜日休診になり、エネルギー使用減少。			
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		新型コロナ蔓延により病院稼働率低下しエネルギー使用量が低くなったためエネルギー削減となった。		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		病院稼働率がコロナ前に戻っても冷暖房負荷が増加しないように病院内にアナウンスをしていく		

（2）温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）（任意記載）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	1. 高圧受変電設備の老朽更新を計画、実施する。 2. 窓ガラスに省エネフィルム貼り冷暖房効果を高める。 3. 事務所、病室内LED化を促進する。 4. 空調機の老朽更新を計画、実施する。 5. 院内情報系PC(200台)及び患者アメニティ用テレビ(300台)の更新する。
第1年度	1. 高圧受変電設備老朽更新は計画継続 2. 西側居室の1部に窓ガラスに省エネフィルム施工 3. 一部の事務所内LED化 4. 空調機の老朽更新は検討中 5. 院内情報系PC更新及び患者アメニティ用テレビ更新予定（2020年度）
第2年度	1. 高圧受変電設備老朽更新は計画継続 2. 窓ガラスに省エネフィルム施工検討 3. 一部の事務所内LED化 4. 空調機の老朽更新は検討中 5. 院内情報系PC更新及び患者アメニティ用テレビ更新
第3年度	1. 高圧受変電設備老朽更新は計画継続 2. 窓ガラスに省エネフィルム施工検討 3. 一部の事務所内LED化再検討 4. 空調機の老朽更新は検討中 5. 院内情報系PC更新及び患者アメニティ用テレビ更新
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	コロナ対応や半導体不足の影響もあり一部計画が未実施となった。 エネルギー削減計画は引き続き実施していく。

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	土地の問題や強度的に設置不可能である
風力	×	土地の問題で設置不可能である
バイオマス	×	検討の余地がない
未利用エネルギー	×	設備的に排熱等の利用負荷が無い
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	1. 廃棄物の減量化・分別化の推進し乾熱滅菌装置を導入予定。 2. 川崎温暖化対策推進会議(CG川崎エコ会議)への参加を行う。 3. 各事務室温27℃設定の運用と院内従事者のクールビズ(ノーネクタイ)の施行(5月～10月/末) 4. グリーン購入及び、トップランナー適合品の購入推進
第1年度	1. 廃棄物の減量化・分別化の推進し乾熱滅菌装置を導入 2. 川崎温暖化対策推進会議(CG川崎エコ会議)への参加 3. 各事務室温27℃設定の運用と院内従事者のクールビズ(ノーネクタイ)の施行(5月～10月/末) 4. グリーン購入及び、トップランナー適合品の購入推進
第2年度	1. 川崎温暖化対策推進会議(CG川崎エコ会議)への参加 2. 各事務室温27℃設定の運用と院内従事者のクールビズ(ノーネクタイ)の施行(5月～10月/末) 3. グリーン購入及び、トップランナー適合品の購入推進
第3年度	1. 川崎温暖化対策推進会議(CG川崎エコ会議)の閲覧 2. 各事務室温27℃設定の運用と院内従事者のクールビズ(ノーネクタイ)の施行(5月～10月/末) 3. グリーン購入及び、トップランナー適合品の購入推進 4. 高圧受電引き込みケーブル更新(追加実施)

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	3,875 t-CO ₂	3,740 t-CO ₂	3,569 t-CO ₂	3,514 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	2,025 KL	1,972 KL	1,911 KL	1,907 KL
事業所の数	2	2	2	2

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
日本鋼管病院	川崎市川崎区銅管通1丁目2番1号	3,541	3,402	3,243	3,228

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度